

1. 競技規則

本大会は2023年度日本陸上競技連盟競技規則および本競技会申し合わせ事項により実施する。

2. 競技者案内所（T I C）

競技者案内所（T I C）を競技場正面入口に置き、次の業務を行う。

- (1)各種問い合わせ、審判長への抗議・上訴の受付、落とし物の取り扱いなど。
- (2)プログラム販売（1冊500円）。
- (3)競技に持ち込んで使用する円盤の受付と返却。

3. 受付

- (1)競技者受付は8：00からT I Cにて行う。
- (2)受付の際には、プログラムと一般競技者にはアスリートビブスを配布する。
- (3)プログラムの記載ミス（氏名、フリガナ、学年、所属等）については、大会プログラム記載事項訂正申請書プログラム訂正用紙（T I Cで受け取る。）を提出する。

4. 招集

- (1)本競技会では、トラック競技の招集は100mスタート横のスタンド下倉庫内で行い、フィールド競技の招集は各競技場所で行う。
- (2)競技場への入場は100mスタート後方またはフィニッシュライン後方のゲートとし、会場入場時間内に入場する。
- (3)招集の際、ユニフォーム、アスリートビブス、競技時に使用するシューズ、商標等のチェックをする。
- (4)代理人による招集は認めない。
- (5)トラックの横断は、すべて競技役員（競技者係・マーシャル等）の指示・誘導によって行い、細心の注意を払うこと。また、出場する選手以外は競技場に入らない。

5. アスリートビブス

- (1)中学生及び高校生はそれぞれの登録番号のアスリートビブスを、大学生及び一般の競技者は主催者が用意したものを、そのままの大きさで胸・背部に固定すること。ただし、跳躍種目の競技者については、どちらか一方でよい。（TR5.7/5.8/5.9）

6. 競技方法

- (1)トラック競技
 - ①レーン順はプログラム記載通りとする。
 - ②短距離走では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。
- (2)フィールド競技
 - ①試技順はプログラム記載通りとする。
 - ②フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。
 - ③三段跳の競技者は、助走路の外側に主催者が用意した規定のマーカーを2個まで置くことができる。
 - ④円盤投についてはサークル直後あるいはサークルに接して、主催者が用意したマーカーを1つだけ置くことができる。これらのその撤去は使用した競技者が責任をもって行うこと。
 - ⑤三段跳の中学男女及び高校女子はメインAピットで行い、踏切板は8mの地点に設置する。高校男子はバックB・Cピットで行い、競技者の申告記録を考慮して踏切板の設置を行う。
 - ⑥円盤投は本競技場内での練習のみとし、補助競技場での練習はできない。
- (4)抗議
競技会進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、正式結果が発表されてから30分以内に、その種目に出場した競技者自身または代理人がT I Cまで申し出る。
- (5)助力
 - ①競技者が競技場所を離れる場合は、競技役員に申し出なければならない。（コーチング、トイレ等）
 - ②ビデオ装置、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーやスマートフォンもしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない。
 - ③コーチ等からの助言は競技場区域外（スタンド）のコーチングエリアのみとする。その際、そこで録画した映像を見せることは助力にはならないが、録画した機材（スマートフォン・ビデオカメラ等）を競技区域内にいる競技者が手に持って見た場合は助力とみなす。

7. その他

- (1) 競技で使用する用器具はすべて主催者が準備したものを使用しなければならない。ただし、円盤投用円盤は、競技場にはないものに限り、個人所有のものを使用できる。円盤の持ち込みについては、招集完了時刻の1時間前までにT I Cに持参し、返却もT I Cで行う。円盤の持ち込み希望者は、招集完了時刻の1時間前までにT I Cに持参し検査を受けること。検査に合格した用具は一括借り上げとし、参加競技者で共有できるものとする。なお、競技終了後にT I Cで返却する。(TR32.2[国内])。
- (2) スパイクピンの長さは9mm以内とする。
- (3) 競技場に商品名のついた衣類、バッグを持ちこむ場合は日本陸連「競技会における広告および展示物に関する規程」に順守すること。
- (4) 芝生スタンドへの出入りは、100mスタート後方とフィニッシュライン後方の出入り口のみとする。
- (5) テントを張る場合は芝生スタンドのみとし、メインスタンドには張らない。
- (6) 応援については、メインスタンド及びフィールド競技の進行の妨げとなる場所での集団応援はしない。
- (7) スタンドからの撮影は、その選手の関係者のみ許可し、それ以外の撮影は認めない。また、撮影禁止エリアでの撮影は一切できない。
- (8) ウォームアップ場（補助競技場）への監督・コーチの入場は認める。
- (9) 競技場所からの退場は、100mスタートライン後方またはフィニッシュライン後方のゲートとし、マーシャル他競技役員の指示により退場する。